

数年後に効く選び方・・・買うときの値段だけで決めない

車は、買う値段と手放す値段の差が実質の負担です。差額40万円のグレードでも、手放すとき20万円多く戻れば実質20万円。単純な引き算の話です。

ここに書いたのは傾向であり、将来の価格を保証するものではありません。相場は年式・時期・地域で動きます。

選ぶもの 何を決めるか	数年後への効き方 大きい／中くらい／小さい	なぜそうなるのか 理由	効く選び方 数年後を考えるなら	ただし注意 やりすぎない
車種そのもの 何を選ぶか	大きい	中古で人気のある車種は、値下がりがゆるやか。台数が多い車種は買い手も多い	ミニバンとSUVは需要が安定しやすい。台数の多い定番車は堅い	人気だから買う、では本末転倒。自分の使い方に合うことが先
ボディカラー 色を決める	大きい	日本では白と黒が売れやすく、買い手の数がちがう。特殊な色は好みが分かれる	白・黒・シルバーは無難。数万円から十数万円の差が付くことがある	毎日見るのは自分です。好きな色を我慢して後悔するほうが高くつきます
グレード どのランクにするか	中くらい	上位グレードは高く売れるが、買うときも高い。差が全部戻るわけではない	その車種でいちばん売れている帯を選ぶと、買い手が見つかりやすい	最上級が常に得とは限らない。差額を年数で割って考える
駆動方式 2WDか4WDか	地域による	雪の降る地域では4WDの需要が高い。降らない地域では差が出にくい	雪国なら4WD。そうでないなら2WDでよく、燃費でも有利	売るとき地域と、乗る地域が同じとは限りません
メーカーオプション 工場で付ける装備	中くらい	あとから付けられないため、付いている車は中古で価値が出やすい	運転支援や快適装備は評価されやすい。迷ったら付けておく	全部付けると総額が跳ね上がります。要るものだけ
使い方と手入れ 買ったあとの話	大きい	走行距離と整備の記録は、査定でそのまま見られる。傷や内装の状態も	点検の記録簿を残す。禁煙で使う。傷は早めに直す	乗るのを我慢して距離を抑えるのは、車を持つ意味を失います

 実質の負担を出す式

買った値段－手放した値段＝数年間の実質負担。ここに維持費を足したものが、本当にかかったお金です。月々の支払額ではなく、この数字で車を比べてください。

 記録簿は無料の資産

点検の記録が残っている車は、査定でも中古市場でも評価されます。捨てずに保管しておくだけで、数年後にお金になる。今日からできる、いちばん簡単な備えです。

 順番を間違えないこと

数年後の値段を気にして、好きでもない色や合わない装備を選ぶのは本末転倒です。その車に乗るのは、これからの数年間のあなたです。

1. 使い方に合っているか
2. 好きかどうか
3. 数年後の値段

この順番を守ってください。